



学校だより



青梅市立東小中学校
令和6年度 第9号
令和6年12月25日

最後まであきらめないで取り組むと成果が出せる

小学校副校長

12月、師走を迎え、日中はあたたかくも、冬のきびしい寒さを感じるこの頃ですね。皆さんは、2学期の学習や生活について、自分の目標の達成具合を振り返ってみてどうでしたか？

11月30日から12月5日まで作品展が行われました。小学校は、図画工作科、書写、5・6学年は家庭科の作品を、中学校は、美術科、技術科、家庭科の作品に、ものづくりで収穫した作物を展示しました。また、高等部からは、アイデアに富んだ作品や美しい生け花を、どれも素晴らしく魅力的で感動しました。

作品展は、一人一人が最後までやり抜くこと、鑑賞の態度や能力を養うことを目的に行いました。子供たちは、一つの作品をつくり上げるまでに、毎回の授業に真剣に取り組みました。途中、上手くいかなくて、どうしようかと悩んだり、あきらめそうになったりしながらも、先生方の指導と支援を得ながら、最後まで作品づくりに取り組みました。同じ材料を使い、同じテーマのものをつくってもそれぞれの作品には、子供たちの個性が表れていました。

文化的な活動は、子供たちの意欲を高め、自信をもたせる活動として行っています。作品完成まであきらめずにがんばった自分を褒めてあげましょう。作品を参観された皆さんが、一人一人の創意あふれる作品に、思いを寄せていただけた、と感じております。

学園の先生方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。これからも授業に集中して、楽しんで作品づくりに励んでくれることを期待しています。

自分を大切にするために セーフティ教室「薬物乱用防止教室」

12月18日(水)にセーフティ教室で「薬物乱用防止教室」について、警視庁の動画を視聴しました。薬物が健康に及ぼす影響や、被害にあわないために断る勇氣（意思決定）と誘いに乗らない（行動選択）ことについて学びました。自分のこととしてとらえ、自分を大切にすることについて考えを深めました。

中学校 クラブ活動 関東少年卓球大会

12月4日(水)、埼玉県のサイデン化学アリーナにて関東少年卓球大会がありました。東中学校からは、卓球部12人で参加しました。午前は団体戦。団体戦に向け、シングルス、ダブルスの練習に取り組んだ成果を発揮しようと懸命にプレーしました。結果、女子チームは3位に入ることができました。午後は個人戦。一人きりでコートに立つ姿は皆とても緊張して見えていましたが、それぞれが堂々と精一杯戦いました。試合に負けても、仲間を応援することができました。個人戦では女子2人が5位、男子1人が優勝というすばらしい結果になりました。「返事・挨拶・礼儀・マナー」卓球部のモットーをよく意識し、学びの多い大会になったはずです。寮の先生方、応援とご支援ありがとうございました。

つないでつないでがんばった 駅伝大会

12月10日(火)に、学園行事である駅伝大会が行われました。運動会のあるころから、放課後の練習が始まり、期末考査が終わるころにはどの寮も熱が入り、みなさんの気合が伝わってきて、どんな走りが見られるのか、楽しみにになりました。

本番当日は寒すぎることもなく、絶好の駅伝日和になりました。女子の個人レースから始まり、男子の駅伝まで、どのレースも見ごたえ抜群で、素晴らしいレースでした。走っている人も、応援する人も、ともに全力、一生懸命で、箱根駅伝にも負けない盛り上がりだったと思います。駅伝大会への思いや本番までの努力、自分自身の限界への挑戦などを背負って走る姿は、とても格好良かったです。「今を頑張る姿」に感動しました。

今回の駅伝大会をとおして、あらためてみなさんには「無限大の可能性」があることを実感しました。あきらめず、投げ出さず、下を向かず、前向きにがんばっていれば、「必ず伸びる」のがみなさんです。今回の駅伝大会に向けて挑んだ気持ちや、エネルギーを忘れないでください。「がんばる時はいつも今」という思いをもって、これからも何のためにここで生活し、何のためにここで学んでいるのかを忘れず、何事にもチャレンジし続けてください。これからががんばるみなさんを応援しています。

小学校 社会科見学 極地研究所・新聞社印刷工場・中華まんミュージアム

12月19日(木) 小学校4・5・6年生は社会科見学に行きました。バスに乗って3カ所をめぐる盛りだくさんの行程でしたが、道中は車内で静かに過ごすことができました。

極地研究所では、南極から持ち帰った氷に触ったり、プラネタリウムでオーロラを見たりするなど、南極や北極の様子を身近に体験しました。読売新聞の印刷工場では、2階の高さを超す巨大な印刷機と張り巡らされたレールで運ばれる印刷物を見学しました。その日ちょうど大きなニュースが入ったことで輪転機での印刷開始が遅れたり、途中で版が変更したりと、めずらしい光景も目にすることができました。中華まんミュージアムでは、肉まんが作られる工程を見学しました。大きな生地が小さくカットされるところから蒸し上がって包装されるまで、すべてが機械化されている中、大量生産の製造工程を数人で管理していることに驚かされました。

どの見学先でも子供たちは興味深く見聞きし、質問の時間にはたくさんの手が挙がりました。今回の社会科見学をとおして学んだことを、今後の生活につなげていってほしいです。学園・寮の先生方には、お弁当や持ち物の準備など、多くの面で支えていただいたことを心より感謝いたします。